

大玉村玉井農業協同組合（JA大玉村玉井）



代表理事組合長	押山 勇	役員数	13名
所在地	〒969-13 安達郡大玉村 玉井字町47	理事	10名（うち常勤 1名）
	☎0243-48-2211	監事	3名
設立年月日	昭和23年6月29日	職員数	49名（男28名 女21名）
		臨時	3名

I 地区の概況

当村は、町村合併促進法により昭和30年に玉井村と大山村の2村が合併して今日の大玉村が誕生した。位置は、中通り地方のほぼ中央にあって、東に阿武隈川、西に安達太良山をひかえ、JR東北本線本宮駅より4km、玉井は東西に細長い地域で北は二本松市から13km、南は郡山市から18kmの所に位置する純農村地帯である。

耕地は西の安達太良山麓より東にかけての緩傾斜地で、玉井地区の総面積は約5900ha、内水田751ha、畑197ha、主として山林におおわれて

いる。東部は平坦地で田畑が開け、西部は中間地帯と標高約550mの所まで作付されている。

気温は年間平均約12℃で、年間降雨量は約1100mmと気候風土に恵まれた地域である。

農畜産物は水稻が中心で、畜産は和牛繁殖及び肉牛と豚の一貫経営である。野菜類では、高冷地帯の高原野菜と平坦部のきゅうり、いんげん類、秋冬期にはにら、いちご等と地域の特色を生かして取り組んでいる。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

農協設立当時の地区農業は、稲作中心に穀類や養蚕、たばこ及び和牛・羊・馬等を中心とした畜産等が取り入れられていた。

30年に大玉村が誕生して土地改良等基盤整備に取り組むと共に、畑作にきゅうり等野菜類を、畜産に養豚を積極的に導入した。40年前半までに生産量が増大してきた。

稲作の増収技術もこの頃から積極的に取り組み、44年に米の過剰在庫から生産調整が始まり、この年には自主流通米制度が発足した。以降農協では、産地形成を図るためササニシキをその後にはコシヒカリを中心に取り入れて、銘

柄米生産に積極的に取り組み現在に至っている。

46年には、第二次構造改善事業に着手し、水田圃場整備と機械化作業体系の導入が推められ、95%以上の圃場整備が終了し現在の基盤ができた。

この年代に肉牛の導入が進み現在の基礎を築いた。48年のオイルショック以降飼料価格の値上がりや豚肉の輸入等のため、養豚離れが進む中で、繁殖肥育一貫経営農家が誕生した。

畑作においては、農業就農高齢化と相まって重量野菜から軽量野菜への転換を、また消費の多様化に伴い、いちご等の施設園芸品目の導入を勧めて地域農業の振興に取り組んでいるところである。

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

項目		年次	25	35	40	50	60	2
総農家戸数 (戸)			695	740	723	702	677	578
うち 専業 (戸)			520	414	195	50	46	32
I種兼業 (戸)			103	222	315	331	140	91
II種兼業 (戸)			72	104	213	321	491	455
経営耕地面積 (ha)			790	941	912	984	1,003	971
うち 田 (ha)			487	523	544	705	760	743
畑 (ha)			185	354	315	241	203	192
樹園地 (ha)			118	64	52	38	40	36
収 穫 面 積	稲 (ha)		454	498	524	647	645	615
	麦類 (ha)		13	21	31	26	27	24
	野菜類 (ha)		6	49	35	40	45	31
	果実類 (ha)		8	2	2	9	3	2
	飼料用作物 (ha)		74	92	35	104	122	118
	たばこ (ha)				16	5	7	1
飼 育 頭 羽 数	乳用牛 (頭)		35	186	53	29	358	356
	肉用牛 (頭)		383	415	385	383	1,188	1,383
	豚 (頭)		106	65	337	106	5,959	6,544
	にわとり (千羽)		1	3	3	1	1	3

2 経営の推移

発足時は、終戦後の大混乱した時代の食糧増産の時で純農村地帯である我が農協では、稲作、麦作、野菜作、畜産等農畜産物生産に取り組み専業農家が多く組合員も農協を拠り所としている。様々な面において事業活動も活発的であったが農家経済は容易でなかった。農家経済の安定を図るため、農業機械や肥料農薬等生産資材の購入決済の確立を図る目的貯蓄を勧め、合わせて農協経営基盤の確立に努めた。

立地条件を活かした稲作については、特に基幹作目として生産に力を注ぎ取り組んできた

が、米の過剰基調となり44年には減反政策が打ち出されて大変厳しい事態を迎え、その結果農協経営にも影響が現れた。今後の米については産地間競争が見込まれ、新しい米作りとして、土づくりと育苗センターの設置を行い 銘柄米産地として稲作の経営基盤確立を図った。

経営の中心は信用・共済事業であるが、昨今の様に金融自由化が進んで競争激化の中では金融事業は大変厳しい状況を迎えており、各部門の採算性の確立が急務であり今後の課題である。

現在、JAグループの構想である組織再編について検討研究を進めているところである。

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

項目		年度	24	30	40	50	60	5
正組合員戸数(戸)			750	795	770	768	733	727
准組合員戸数(戸)					74	79	87	116
資 産	余 裕 金		10,936	13,011	109,107	585,220	3,006,565	5,278,370
	貸 出 金		883	31,680	142,297	1,090,419	2,025,325	2,370,759
	その他流動資産		3,584	15,001	38,983	923,590	422,506	384,610
	固 定 資 産		679	7,887	21,841	39,150	140,591	107,190
外 部 出 資			41	1,585	4,555	15,019	46,615	72,865
	貯 金		13,195	53,345	248,309	1,435,537	3,908,267	6,603,561
負 債 及 び 資 本	借 入 金		1,500	3,347	813	235,378	818,893	305,060
	そ の 他 負 債		1,193	4,904	34,286	880,331	580,114	800,176
	出 資 金		166	7,379	27,459	58,448	95,699	136,264
	積 立 金			160	2,881	16,631	190,381	355,148
主 事 業 実 績	剩 余 金		69	29	3,035	9,073	51,248	13,585
	販 売 取 扱 高		29,829	71,908	310,806	795,338	1,098,495	1,062,216
	うち 米 穀		28,254	67,729	274,686	574,337	720,873	693,772
	青果物		1,575	4,179	20,639	68,565	108,629	101,941
	畜産物				15,481	152,436	268,993	262,419
	購 買 取 扱 高		1,074	19,129	118,545	511,556	932,397	829,119
	うち 生産資材		1,074	18,725	102,861	455,720	758,253	589,286
	生活資材			404	15,684	55,836	174,144	239,833
長期共済保有高				611	10,797	38,970	60,764	

Ⅲ 年 表

年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
23年		47年	
2.16	創立総会	5.27	優良受験組合表彰（食糧庁長官）
4.16	設立認可	48年	
6.29	玉井村農業協同組合発足	2.20	育苗センター建設（育苗事業スタート）
25年		51年	
10.30	農業倉庫1号・2号（竹ノ内）建設	5.27	系統利用優良表彰（経済連）
28年		8.31	4号農業倉庫低温施設設置
5.26	貯蓄成績優良表彰（信連）	10.12	事務所新築落成
29年		52年	
6.21	貯蓄成績優良表彰（信連）	3.30	有線放送事業廃止（N T T太玉局開局）
30年		4.25	村指定金融機関の指定受ける
3.26	農業倉庫3号（本宮）建設	11.23	農協法公布30周年記念祭開催（第1回農協祭）
3.31	玉井村と大山村が合併して大玉村となる	53年	
31年		10.1	創立30周年記念特別貯蓄運動展開
5.29	貯蓄成績優良表彰（信連）	54年	
5.29	系統利用優良表彰（経済連）	5.23	共済事業優績表彰（全共連）
6.8	大玉村玉井農業協同組合と名称変更	55年	
7.13	共済事業優績表彰（全共連）	5.28	系統利用優良表彰（経済連）
32年		56年	
6.28	共済事業優績表彰（全共連）	6.1	信用事業オンラインスタート
.	優良農業倉庫表彰（食糧庁長官）	10.12	オンライン加入特別貯蓄運動展開
10.	長期共済契約保有高1億円達成	57年	
34年		5.18	共済事業優績表彰（全共連）
5.30	系統利用優秀表彰（経済連）	8.19	年金共済友の会発足
7.20	農業倉庫4号（本宮）建設	58年	
12.30	貯蓄1億1000万円・長期共済契約保有高2億円達成	3.24	長期共済億友会発足
35年		5.20	共済事業優績表彰（全共連）
11.11	農協大会 優良農協表彰（中央会）	9.30	育苗センター工事完了
36年		11.1	ガソリンスタンド新築落成
7.8	共済事業優績表彰（全共連）	59年	
.	優良農業倉庫表彰（農林大臣）	5.23	共済事業優績表彰（全共連）
38年		11.20	年金友の会（公的年金）発足
2.	事務所移転	60年	
10.16	有線放送事業開始	5.23	共済事業優績表彰（全共連）
40年		61年	
4.	米穀予約売渡10年記念表彰（全販連）	5.	貯金業務自動支払機設置
43年		5.22	共済事業優績表彰（全共連）
10.10	農機具修理センター建設	62年	
45年		5.21	共済事業優績表彰（全共連）
5.21	共済事業優績表彰（全共連）	63年	
46年		5.19	共済事業優績表彰（全共連）
10.28	農産物集荷所建設	8.20	創立40周年記念
11.11	給油所地下タンク増設		

年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
元年		4年	
5.18	共済事業優績表彰（全共連）	1.14	年金共済加入1000件突破記念大会
2年		7.21	村議会議員との交流
5.17	共済事業優績表彰（全共連）	5年	
3年		1.12	健康増進活動（～13）
5.23	共済事業優績表彰（全共連）	5.20	共済事業優績表彰（J A全共連）
5.27	貯蓄優良表彰（信連）	7.30	安達地方J A合併研究会設立総会 大凶作 産米集荷19,788袋（限度数量の25%）

IV 資 料

（平成5年度末現在）

1 組 合 員

（ ）は戸数

正組合員		准組合員		合 計	
個人	法人	個人	団体	個人	法・団
1,012	1	136	5	1,148	6
(727)		(116)		(843)	

2 役員及び参事

代表理事組合長	理事 鈴木 敏 雄
押山 勇徳	理事 遠藤 繁 雄
理事 武田 大徳	
理事 竹内 陽一	代表監事
理事 三瓶 良知	菅野 栄 吉
理事 小沼 映一	監事 三瓶 金一郎
理事 渡辺 左内	監事 渡辺 勝 夫
理事 高橋 三男	参事 伊藤 雅 啓
理事 野内 軍治	

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
28	21	49	4	1

4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農事組合		46組合
農青連	大 森 芳 隆	24
婦人部	鈴 木 夕 イ	212
年金友の会	押 山 直 衛	610
長期共済億友会	松 井 行 雄	231
年金共済友の会	菅 野 栄 吉	1,150
カラオケ愛好会	伊 藤 幸 雄	40

5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
そさい部会	今 井 哲 夫	50
養豚部会	鈴 木 重 夫	16
肉豚部会	渡 辺 勝 夫	8
和牛繁殖部会	三 瓶 未七郎	70
肉牛部会	鈴 木 浩	17
水稻共同作業組合	安 達 保 之	153
ニラ部会	武 田 清	16
いちご部会	武 田 幸 一	8
花木部会	菊 地 好 幸	4
玉井採種部会	大 森 平 次	20

6 主な施設

名 称	所 在 地
事務所	玉井字町47
資材倉庫	〃 〃 9-1
農機具センター	〃 〃 〃
野菜集出荷所	〃 〃 〃
給油所	〃 〃 1
育苗センター	〃 字台5
野菜集出荷所	〃 字町5-1
農業倉庫 2号	〃 字竹ノ内151-1
〃 3号	本宮町万世28-1
〃 4号	〃 〃 〃
共同倉庫事務所	〃 〃 11-1
〃 附属住宅	〃 〃 〃

7 歴代組合長・参事

組 合 長			
23～26	笹山 源三	41～47	鈴木 正平
26～29	武田 熊治	47～56	河原 民治
29～32	武田 己吉	56～2	本田與四郎
32～35	後藤 軍治	2～5	大内 勲
35～41	野内 四郎	5～	押山 勇

参 事			
23～44	河原 民治	56～62	押山 喜好
44～50	武田 義雄	62～	伊藤 雅啓
50～54	佐藤 栄男		

8 経営管理機構

